

第2節 地区別の将来人口予測と各地域の課題

1 地区別の将来人口予測

基本構想における土地利用構想では、本市を都市地域*と中山間地域に分け、地区ごとに将来の都市像の実現に向けた適正な土地の利用と活用の方向性を示しています。

中山間地域の各地区の人口密度は、1平方キロメートル当たり100人を下回り、人口減少が続いていることから、集落や土地利用、コミュニティの維持などが難しくなっています。

こうしたことから、各地区の将来の人口を踏まえた課題認識を持つことが重要と考え、第1章第3節の人口予測(※1)で使用した推計方法のうち、現状推移型に基づき、地区別の将来人口を予測(※2)しました。

人口減少抑制のための施策を推進する一方で、人口が減少するという現実を市民と共に真摯に受け止め、縮減する都市にあって、個々の市民の生活環境の快適性をできるだけ維持しつつも、それに見合う、あるいはそれ以上の産業・経済の進展を図るとともに、将来的には、居住地や公共公益施設の集約化を図っていくこととします。

第五次総合計画基本構想における地区区分

	地区名称	対象地区
都市地域	旧柏崎地区	中央、比角、半田、枇杷島、剣野、大洲、鯨波
	郊外地区	荒浜、北鯖石、田尻、高田、西中通
中山間地域	西部地区	米山、上米山
	中通地区	中通
	北条地区	北条
	北部地区	高浜、西山町
	上条・黒姫地区	上条、黒姫
	鯖石・高柳地区	中鯖石、南鯖石、高柳町



地区別の将来人口の予測(現状推移型の場合)

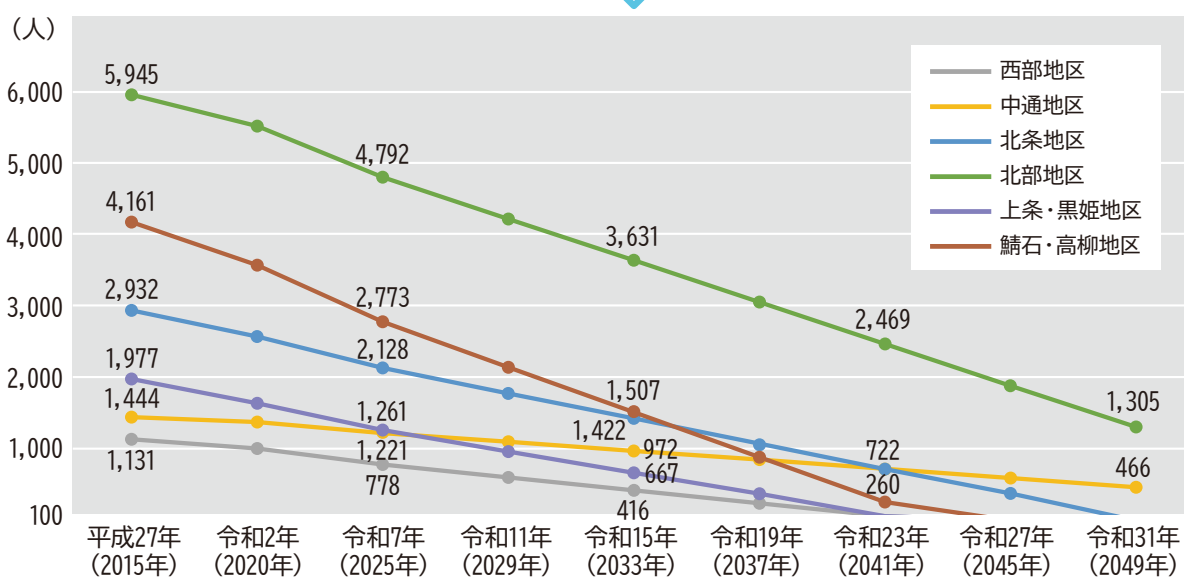
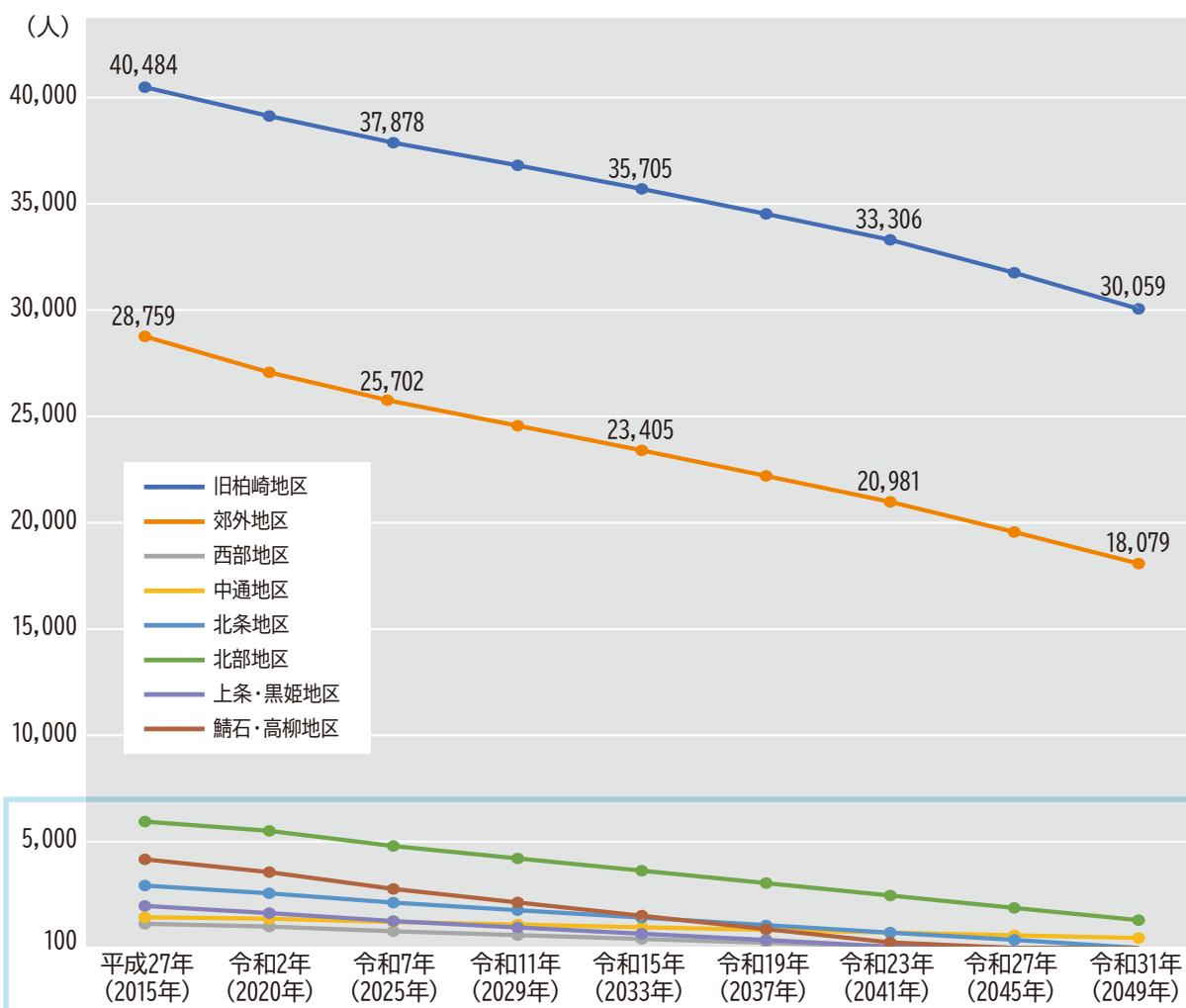
	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和11年 (2029年)	令和15年 (2033年)	令和19年 (2037年)	令和23年 (2041年)	令和27年 (2045年)	令和31年 (2049年)
旧柏崎地区	40,484	39,129	37,878	36,809	35,705	34,525	33,306	31,760	30,059
郊外地区	28,759	27,070	25,702	24,564	23,405	22,203	20,981	19,568	18,079
西部地区	1,131	1,004	778	597	416	237	-	-	-
中通地区	1,444	1,374	1,221	1,097	972	847	722	593	466
北条地区	2,932	2,567	2,128	1,774	1,422	1,070	722	376	-
北部地区	5,945	5,510	4,792	4,212	3,631	3,048	2,469	1,880	1,305
上条・黒姫地区	1,977	1,633	1,261	963	667	372	-	-	-
鯖石・高柳地区	4,161	3,564	2,773	2,139	1,507	879	260	-	-
全市	86,833	81,851	76,533	72,155	67,725	63,181	/	/	/

注) 令和2(2020)年以降が予測値、令和7(2025)年以降は、後期基本計画の計画期間と同じ4年刻み予測値が100未満になる場合は「-」

※1 第1章第3節の人口予測: 後期基本計画における目標年の人口予測が5ページにあります。

※2 地区別の将来人口を予測: 地区別の平成26(2014)年～令和元(2019)年の実績値(住民基本台帳)を基に、この6年間の傾向が将来も続くと仮定し、それぞれ将来値を算定し、これを「柏崎市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略*」に基づく人口予測値のうち現状推移型における全市の将来の各年値に一致させ予測値としました。

地区別の将来人口の予測(現状推移型の場合)



注) 令和2(2020)年以降が予測値

グラフは100を最小値として、予測値が100未満になる場合は非表示

平成27(2015)年人口は、地区別の住民基本台帳人口を国勢調査人口の総数で割り戻したもの

グラフで示す年次は、令和7(2025)年以降は、後期基本計画の計画期間と同じ4年刻み